

クラブ設立へ向け理解

六月二十五日、生活改善センターで総合型地域スポーツクラブ講習会が開かれました。この日の講習会は、総合型地域スポーツクラブ設立へ理解を深めてもらうため、同クラブ準備委員会が主催し、体育協会関係者や関係団体から約二十人が参加しました。講演では、岩手大学の浅沼道成准教授が講師を務め、難しく考えず、多くの人が集まりやすいスポーツ環境を作ることが大事」と話し、参加者は熱心に話を聞いていました。



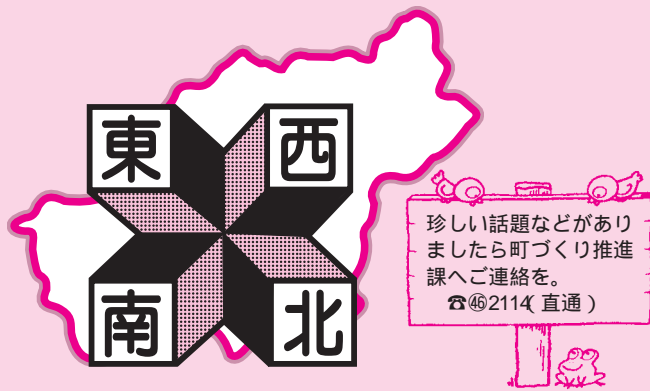
浅沼准教授の話を熱心に聞く参加者

短冊に願いを込めて

有住保育園（松田栄吉園長、園児五十四人）で四日、「七夕まつり」が行われました。松田園長は「短冊に書いた願い事は天に届くと思います。これからも元気に保育園に通ってください」と話しました。園児は、竹笹が飾られた華やかな雰囲気の中、七夕の行事を楽しみました。



七夕飾りの前で元気に歌う園児たち



非行のない地域をつくる



萱場世田米駐在所長の話を熱心に聴く参加者

社会を明るくする運動「映画・座談会」が十四日、下在公民館で行われました。この座談会は、犯罪や非行の防止と、罪を犯した人たちの更生について理解を深め、明るい社会を築くことを目的とする全国的な活動で毎年七月に開かれています。この日は、地域住民や関係団体から約四十人が出席し、佐々木初雄下在公民館長のあいさつのもと、青少年の非行防止の映画を鑑賞し、世田米駐在所長萱場久司警部補から「気仙地区の青少年の非行や犯罪は減少の傾向にあるが、この季節は釣り客など知らない人が出入りし、車上狙いが多発するので注意をして欲しい」と管内の犯罪の状況について話がありました。この座談会は、町内五ヶ所で開催されました。

太公望の夏、アユ漁解禁



待ちに待ったアユの感触を楽しむ太公望たち

気仙川のアユ漁が一日、県内河川のトップを切って解禁されました。「アユの宝庫」として知られる気仙川には、前日から川岸にテントを張ったり、車で夜を明かしたりしながら待望の解禁時間を待っていました。この日は天候にも恵まれ、午前四時の解禁と同時に、多くの太公望が繰り出しました。釣れそうなポイントには多くの釣り人が集まり、太公望の夏を告げる、のどかな光景が広がりました。毎年、多くの太公望が集まる竹の原地区では、午前中だけで二十匹以上を釣り上げる人もいて、数は例年並だが形の良いのが釣れている。気温が上がると、水の量が増えれば釣果も上がるだろう」と話し、解禁初日は上々のスタートとなりました。この気仙川のアユ漁は、十一月三十日まで楽しめます。

クップの輪を広めよう

気仙地区の体育指導委員を対象とした研修会が六月二十八日、旧下有住小学校の校庭で行われました。この日は、町で普及を図っている「クップ」を実際に体験し、楽しみながら研修を行いました。研修会には約三十人が参加し、(財)日本レクリエーション協会の川原塚達樹さんが講師を務め、ルール説明のあと四チームに分かれて対戦し、校庭には木のぶつかる音や歓声が響いていました。



クップを楽しむ体育指導委員たち

気仙の産金史を学ぶ

すみた歴史文化講座が六月二十八日、生活改善センターで開講しました。初回のこの日は、気仙の金山史に詳しい平山憲治さんが講師を務め、気仙と金のかかわりについて歴史的側面から解説しました。この講座は、六月から十一月の前期と来年一月から二月の後期に分かれて開催されます。



講師の平山さんの話を聞く受講生たち